

技能・形態・時間	話す(やり取り) ペア(相手を替えて3ラウンド) 4分
この帯のねらい	同じ話題を、相手を替えて 60秒→45秒→30秒 と3回話す。2回目からは言うことが頭にあるので、どんどん速く・なめらかになる——「短くなるのに楽になる」を体感して、英語の流暢さを育てる帯。

やり方 毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

- 1 Make pairs. Today’s topic is
ペアになる。先生が今日の話題を発表(例: my weekend / my favorite food)
- 2 Round 1! Talk for 60 seconds. Go!
Aが60秒しゃべり続ける→交代でBも60秒。聞く側はあいづち(Nice! / Really?)
- 3 Change partners! Round 2, 45 seconds!
相手を替えて同じ話題を45秒で。2回目は止まらずに言えるはず
- 4 Last round! 30 seconds, best speed!
3人目の相手に30秒で。いちばん中身の詰まった30秒にする

ルール

・止まってもOK。えーっと(Well... / Let me see...)も英語ならセーフ

・聞く側は最低1回あいづち＋最後に一言質問(How about you? でもOK)

・日本語が出たら「English, please!」とペアがやさしく合図

きろく やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	止まらず話せた秒数	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ！ ラウンドの秒数はクラスに合わせて調整OK(90→60→45も)。慣れてきたら聞く側が「質問2つ」に挑戦。学期末は同じ話題で1回目と3回目を録音して聞き比べると、成長が音で分かる！

先生へ(この帯活動の運用)

4/3/2などの流暢性トレーニングの発想を、教室で回しやすい3ラウンド・相手替え方式にした帯。話題は既習の文法とゆるくリンクさせると復習になる(過去形の週は last weekend、未来の週は next weekend)。

ポイントは「同じ話題を繰り返す」こと。新しい話題を3つやるより、同じ話題を3回のほうが流暢さは伸びる。1回目に止まっていた生徒が3回目にスラスラ言えたら、その場で褒める。